

令和6年10月入学/令和7年4月入学（第1期）
地域創生科学研究科博士前期課程
入学試験問題

社会デザイン科学専攻 農業土木学プログラム
「農地環境保全学」

試験開始前に以下をよく読んでください。

【注意事項】

1. 農業土木学プログラムでは、専門科目1科目を課します。
2. 出願時に届け出た専門科目を受験してください。
3. 答案は試験問題ごとに別の解答用紙を用い、それぞれに受験番号、試験科目名及び問題番号を記入してください。
4. 試験終了後は、解答用紙及び下書き用紙を全て回収します。試験問題は持ち帰ってください。

令和6年10月入学／令和7年4月入学

地域創生科学研究科博士前期課程入学試験問題

科目名 農地環境保全学	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 農業土木学プログラム
----------------	---

第1問に解答し、第2問または第3問のどちらかを選択し解答しなさい。

第1問 水田と畑の違いについて、下表の各項目について考える。(1)～(30)に入る適切な言葉を、各項目に示された選択肢から選んで番号で答えなさい。

項目	水田	畑	選択肢	
地形	(1)	(2)	①高地	②低地
土壌の透水性	(3)	(4)	①大きい	②小さい
地下水位	(5)	(6)	①高い	②低い
排水性	(7)	(8)	①良	②不良
養分の流入	(9)	(10)	①わずか	②あり
窒素の有効化	(11)	(12)	①高い	②低い
リン酸の有効化	(13)	(14)	①高い	②低い
土中の酸素濃度	(15)	(16)	①大きい	②小さい
土中の酸化還元電位	(17)	(18)	①高い	②低い
土壌の pH	(19)	(20)	①高い	②低い
作土の土壌構造	(21)	(22)	①単粒	②団粒
連作	(23)	(24)	①困難	②可能
土の強度	(25)	(26)	①強い	②弱い
土壌侵食	(27)	(28)	①多い	②少ない
雑草	(29)	(30)	①多い	②少ない

第2問 侵食された土砂を捕捉する沈砂池に、ビオトープとしての機能を付加させることを考えた場合、課題とその対応方法について説明しなさい。

第3問 土壌侵食・土砂流出モデルである WEPP (Water Erosion Prediction Project) を日本の農地で利用する上での課題とその対応方法について説明しなさい。